(一)　昭和28年5月5日　(火曜日)　第878号　常磐毎日新聞　(昭和25年7月9日 (可認物便郵種三第)

夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町76 常磐毎日新聞社 電話1210 印刷兼発行人 池田一夫 編集兼発行人

有板・囲家 サカイ 五所町

矢吹氏歴倒的勝利

湯本町長選挙の結果

白熱戦を演じた湯本町長選挙は、遂に前町長松本久吉氏を圧倒的に引離し、民衆の父矢吹荘司氏が返り咲き、新町長として登場した。即ち投票の結果は、有権者一万四千九百九十二票のうち投票総数一万三千百五十二票有効投票一万三千五十二票（無効百票）八割七分七厘という好成績を示し、如何に白熱化したかの投票数字を示している。開票の結果は次の通り一千四百三十六票の差で矢吹荘司氏が大勝した

―写真は― 当選の報に喜びの歓声わく矢吹候補の事務所中央○印が矢吹氏

当選 七、二四四票 矢吹荘司
次点 五、八〇八票 松本久吉

喜びの新町長

矢吹氏抱負を語る

なお松本氏は来る二十三日まで任期あるが、近く辞任する模様であり、矢吹新町政は新助役その他を決定し、公約に基く新町長にていし身する事になった、当選の喜びを次の通り語る

「町民各位の絶大なる御声援によつて当選した事は感謝の他ありません、これからは町民各位の御期待にそむかぬよう、明るい町政に向つて堂々と進むつもりです、湯本町は、湯の町と常磐との発展によつて生活せねばならぬので、これらを中心として特殊な町政を推進したいと

霜害の波紋

桑園全滅の危機え 被害四千町歩に達す

二日深夜から三日早朝にかけて石郡郡下に大降霜があり桑園の五〇%を始めそ菜果樹などが甚大な被害をこうむつた、石城地方事務所では被害の主な地方に技師係官などを派遣対策を講じているが蚕園などは大野村、小川村五十人町歩の全滅などその被害は四千町歩に達している、四日までに農政課、蚕糸課に入つた被害情況は次の通り

蚕園―山田、小川両村の五十八町歩全滅入遠野、上遠野、植田の五十七町歩の八割被害、其の他五十町歩の全面的春蚕掃立不能などこれによる損害は三百万円に達する

馬命署―千九百七十七反（植付反別からみた被害率一割三分）

麦―二百八十九反（〇、九割）

菜種三百六十五反（〇、九割）

なし、もも―四千八百四十二本（一割）

柿―二百九十七反（二割九分）

その他そ菜類―百九十反（一割八分）

漁ろう長柳内巍春

▽小名浜第七松丸、（馬上正美）漁ろう長鈴木源之助 ▽小名浜第五瑞宝丸（馬上庄治）漁ろう長茂坂一技 ▽中ノ作第五太陽丸（吉田寿好）漁ろう長吉田恒一郎 ▽江名第二辰巳丸（佐藤良江）漁ろう長吉田恒一郎 ▽四倉第一康盛丸（片寄こう）漁ろう長磐賀留吉 ▽久ノ浜三誠丸（北郷藤三郎）漁ろう長江川新一 ▽中村康丸（菊地喜一）漁ろう長菊地宗藤

小型動力船

▽勿来金寿丸（渡辺龍）植田観音丸（豊田豊）▽剣埼八崎丸（滝内通）▽小型動力船豊間妙証丸、（遠藤亀吉）▽沼ノ内安丸（遠藤亀吉）▽富熊福来丸（三瓶一見）▽薄戸開運丸（金沢網次郎）▽福浦稲荷丸（渡辺宏）▽村上共徳丸（松崎新一郎）▽下浅佐海幸丸（湯石恵治）▽南石出宝船丸（鎌出留七）▽南海若栄丸（共同船）▽鳥崎花園丸（栗山通）▽磯幽神丸（寺島勝吉郎）▽新地第一永神丸（小野万）▽中村欣昭丸（高橋〇治）

桑園全滅の危機え 被害四千町歩に達す

社外区主婦の会発会

常磐炭砿内郷砿社外区主婦の会ではこのほど同砿山神社社務所で発会式を行い、会長に遠藤峰、副会長に鈴木シズを選任発足した、会員は五十名

磐女PTA 新役員決る

磐女高PTA役員会は三日同校で開き、二十八年度新役員を次の通り改選した、会長服部桜雄、同副会長鈴木喜政同山崎啓也、同国井一美、同佐藤貞之助、顧問阿部校長、同越智前会長

渡辺三平氏 四倉教育長に

内郷町教育委員会事務局教育係長渡辺三平氏は去る一日付で四倉町教育委員会教育長に栄職した

好間中校のPTA総会

好間中学校PTA総会は、五日午前十時から開催、役員改選その他を協議する

高木代議士後援会

小名濱の新役員決る

小名浜町有志家によつて結成されていた高木松吉代議士の後援会は会長高木武士、副会長佐藤政治、江尻三藤郎、幹事長鷲宇江の諸氏に依つて運営されていたが、昨年十月及び今回の選挙に鑑みて高木代議士への民衆の信頼はその人物の公僕を飽まで高く買われ、総選挙を重ぬる事に得票に現われ出る人望が高揚されてある見ても小名浜町の得票が他の比例に即しないものがあると云う見地の許に首脳部の改組が首脳部自身引退が申出たので五月三日午后一時より、公民館日本間で幹事会を開き新首脳部の誕生を見るに至つた。而して来るべき選挙に備い心機を一転して後援会の趣旨を徹底せしむる事を申合せた

会長 立花秀吉（現町議）
副会長 鈴木弘作（前町議）
同 馬目喜右エ門（現組長）
幹事長 飯塚仁一（現第二中PTA会長）
顧問 高木武士（前会長）
同 坂本義友（代議士側近者）
相談役 小野務平（現町議）
同 箱崎篤三郎（同）
同 木田谷平（同）
同 飯塚新四郎（同）

右決定して高木代議士の都合に依り急遽に総会を繰り上げ報告会を開く事になつた

傷害船員御用

小名浜のケンカ

小名浜町橋本鍵屋金物店主馬上兵吉さん孫兵一(三)さんは、三日午後九時頃同町百万ドルパチンコ屋で、見知らぬ男とケンカとなり、小刀で重傷を負い、草野医院で手当中だが生命危篤、なお犯人は小名浜に停泊中の広島県第十一福田丸乗込船員表順三(三)と判り逮捕した

内二中優勝

内郷中学野球

内郷町内中学校の定期野球大会は好天候に恵まれた二、三日の両日金坂グラウンドに華々しく繰り展げ、在校生徒の応援団がスタンドを埋め、応援歌の応酬で内郷の早慶戦ともいわれる熱戦を展開、二回戦とも内郷二中校が内郷を圧し大勝した、成績次の通り

▼第一回戦（二日）内郷二中9対0内郷一中
▼第二回戦（三日）内郷二中⑫対0内郷一中

優良船に知事賞

六日漁協役員会で表彰

第三回県漁業協同組合役員大会は六日午前十時から県漁業協同組合で開き、次の優良漁船並び漁業功労者の表彰を行う

知事賞

優秀漁船の部

▽カツオ、マグロ漁業―江名白ほう丸（中田喜三郎）漁ろう長山川太兵衛
▽県旋網共徳丸、（伊藤房儀）、金成第一（渡辺龍治）漁ろう長伊東誌太郎
▽県旋網共徳丸、（伊藤房儀）、

記念植樹

内郷主婦の会

常磐炭砿内郷砿西区主婦の会では草木子渡欧記念並びに緑の週間に因んで西区世話所前と山神社境内に血縁、雲光、ひば、もみの木を記念植樹した

子供の日

多彩な内郷の催し

内郷の子供会内郷町公民館では子供の日（五日）の午後六時から白水照成寺にラッキースター軽音楽団の演奏で子供会を開き、磯り沢山の番組で一日楽しく過ごすことになり赤土興栄同館主事の童話、音楽と童謡歌手の独奏、三ツの歌、幻燈会（紹生門、良寛さん、上野助物園）などを催す

社告

五日は全国新聞の申合せにより休刊日となつておりますので同日発行（六日付）夕刊は休刊します

常磐毎日新聞社

傷害男挙る

平市署では四日夜八時ごろ市内長橋町折笠磯吉さん方使用人永島秀夫(三)を傷害現犯で検挙した。永島は同夜松ケ岡公園地内で蛇ノ目寿司雇人村田隆男(三)さんに暴行全治一週間の打撲傷を与えたもの

交通

知事賞

▽カツオ、マグロ漁業―江名白ほう丸（中田喜三郎）漁ろう長山川太兵衛
▽県旋網共徳丸、（伊藤房儀）、

妻照（磯東北大学病院に於て病気療養中の処四月十五日午後一時二十五分永眠致しました茲に生前の御厚誼を深謝致し謹んで御通知申上げます追つて葬儀は五月六日午後二時自宅出棺長誓寺に於て相営みます
五月三日
平市一丁目二十四番地
施主 平野鉄之助
外親戚一同

新入社員50名入社記念特別大奉仕
☆5日まで特別御買徳品を續々と店頭店内に発表致して居ます☆
大黒屋独得の旗日大奉仕（こどもの日）
☆ 全店總力を挙げて旗日には特別奉仕品を御提供申し上げます 尚今回の旗日はこどもの日に当りますのでお子様用品の御買徳品を御提供申上げます

一連鎖店一
平本店
平支店
湯本店
小名浜店
金坂店

皆様の利益を護る店
大黒屋

花のパリーとロンドン
4月21日→5月31日
空路★御招待★全連国合大売出し

☆お買上高1000円毎に抽せん券1枚進呈☆
★ 〃 100円毎に補助券1枚進呈★
補助券5枚にて演芸會へ御招待 於 平市公会堂 6月7日(日) 午后1時 午后6時

専 平専門店会
日本専門店会連盟

会員
天才堂 石井時計店 マルト洋品店 三ツ星商事 サロン・ド・モード 松月堂 あかね家具店 ハッピー洋装店 誠屋電機 やまと屋 星菊屋 永丸商店 ピカ一百万円 木野屋 丸中商店 土屋 うなぎ多屋 みや電機 第二時計店 洋シャツ屋 小屋呉服店 台物屋 崎合名社 塩古鍛冶屋町店 一丁目 平田醤油 日磐自動車 山本高ミ屋 川多野屋 丸山商店 三村無線本店 二丁目 坂仙武常 古田呉服店 大吉屋 丸中石炭 大眼鏡店 三白め 古坂時計店

★特賞 花のパリーとロンドンへ空路御招待
★一等 九州一周旅行御招待
★二等 商工債券（5000円）
★三等 平専門店会のチケット（1000円）
★等外 せんもん石鹸

自治功労者表彰
憲法發布を記念して

風かほる五月、憲法発布記念日に際し県では普行者及び優良社会事業団体、自治功労者などの表彰式を行つたが、うち当地方関係の分は次の通り

▼自治功労者
平市役所税務課長山岸清水氏で同氏は二十六カ年間にわたり、市財政の確立のため努力した人温厚であり、市の生き地引として知られている

▼農業功労者
伊藤小一郎氏（上遠野村）同氏は特に蓄産功労者として知られ組合のために私財を投じて育成に努力した人
さらに優良納税者として晴れの表彰を受けた人々は

▼平館（島田勝吉氏）
▼山形屋（鈴木康平氏）湯本の旅館
▼越の家（田中ヤス子氏）
▼松柏館（比佐栄一氏）湯本である

古川伝一氏
藍綬褒賞を受く

さらに藍綬褒賞を授与された人々は全国四十八名に達しているがうち植田町の古川伝一氏は地方開発のために努力した功労によつて表彰された

同氏は昭和八年から鮫川水利委員となり、菊多方部一千百町歩にわたるかんがい水のため、同組合のため努力遂に完成したもの

諏訪神社の大祭
奴大名行列（七日から）

石城郡渡辺村釜戸諏訪神社は往古から七年目毎に執行する本邦唯一と称せらるゝ古式の奴大祭は、三児も知つている神徳崇厳なる神社で、大祭には臨時列車も十四、五本増車運転する有名な行事であるが、去る昭和二十二年は占領下でもあり更に物資も不足のため止むなく一回延期したが本年は頂度該当年なので先般神社関係者は数回会議を開き盛大に執行することに決定した。従来は田楽を用いたが本年は特に獅子舞を導入して行うことになつた。即ち五月七日：笠抜祭。八日：御機出祭。九日：笠抜祭八日は下川原へ御幸執行することになり目下鋭意に最後練習中である

一、笠抜祭の式典は鎮座地周囲に於て厳、家老を中心に奴、長持役付年寄数百名落領主の右高による振込振出鎧妙技を撮い誠に盛観なり

二、御機出本祭は大体午前九時神社出発午前十時田楽（渡辺村中心）へ振込十体一時頃迄振り通しにて田部に於ける技術妙技は本大祭に於ける特筆の右出にして其の勇ましさとうつくしさは恐らく人生に於ける一大壮観と申しても過言ではあるまい

三、笠抜祭は神社地周囲に於て行う行事にして、堤刺り式を始め振込、振出の妙技と奴一同数百名一ケ所に於て行う行事にして之又特典にして笠抜祭を見ざれば、奴見たに非ずと古人が云うの振込は午後二時ころの予定にて泉に於ける行事も盛大にして観人集出の多きは之又予想以上なり

この相有害なる消毒液使用に厳重な警告を発する

危い！消毒液
ボリトール液で死亡

平市四ツ波農小泉嵩一郎氏二男文男（三つ）ちやんは四日父親嵩一郎さんに背負われて石森山地内梨園の消毒作業中、梨園消毒用のボリドール液を中毒死亡した。同ボリドールは甚しい有害物であり使用時は慎重な注意を要する消毒液であるところから平市署では父親嵩一郎氏を過失致死の疑心取調べる一方

臨時列車
諏訪神社祭例

八日渡辺村釜戸諏訪神社奴大名行列祭典に臨時列車決る「泉以北の部」（上り）平発十時十分―綴四十七分―湯本二十四分着臨時列車決る

▽泉以北の部
（上り）三二二六列車平発十時十分―綴四十七分―湯本四二十四分―泉着四三十二分
●四三二四六列車平発十二時二十分―綴四二十六分―湯本四三十三分―泉着四四十三分
●四三二八列車平発十三時二十八分下綴四三十四分―湯本四四十一分―泉五十分着
（下り）三四二七列車泉発十五時二十分―湯本三十二分―綴四十一分―平着五十分
▽三二三一列車泉発十六時四十分―湯本五十二分―綴十七時一分―平着十七時十分
▽三四二九列車泉発十九時五十五分―湯本二十時七分―綴十六分―平着二十五分
▽三二三三列車泉発二十時三十分―湯本三十分―綴四十四分―平着五十二分

野外写生会
子供の日を祝して

平市中央通令嬢年会は五月五日の「子供の日」を祝し、また社会教育の一環として「野外写生会」を午前八時から農事試験場裏掘防で催す。参加資格は小学四年生から中学三年まで、希望者は午前八時までに釜屋商店前に集合、用意品は水筒、手拭、昼食、図書道具

江名港修築工事は同所長大関さんの努力によつて着々と進捗しているが

◆この工事は港築丸という船が動いてからである。ところがこの船の二分絡パイプその他附属品などを積んだものがある

◆これがため折角一生懸命の江名港工事も休業状態。公の機関であるこのような施設物を盗むのは誰かなれば小名浜町の中心地点は現在の第二小なども、その主力を占める中央部となるかも知れない、果せるかなで、町庁舎の敷地問題で西部田部の町論がつ起して買収済の敷地から西部に移取しようとする暗闘が表面化して来たのに微しても判明する、斯るに西部ではそこに眼を注いでいるから耐らない。PTA会の場合も有力家を挙げて、この動きに局応する準備に怠らない、かつて小二校舎の増築案が平家建で町議会が決議したものを、一夜で二階建ての校舎で早変りしてその面光右火ぶりはPTAの際の奔走が奏功した事は、樋口町長時代で、時の校長増子さんが樋口町長へ計画されたものであつた、その伝統を受けついで現会長飯塚さんは軍人できたいた精魂と、農業家と、天候と土地に取り組んだ永年の体験とで、押しの強さを示している、過般の改選期で再選されているなどよく君の性格を物語つている、殊に在情往行の会長は生一本で進撃する、その銘紙には誰あつて受け止め得る相手さないとされている強者であるから、今後の中央を形勢しようとするその理想を実現せんとするためには若せなくては為し得ない導当であると、君再選を大きい期待をその活躍を注目している、君も亦徒らにくたらない闘争を避けて、第二小将来の進展の為めに揮身の力を注ぐ事が約束づけられている　（完）

小名浜PTA総まくり ④
飯塚氏の巻

第一小学校は昭和十五年度に建設された小学校であるが、PTA会長は開町長飯塚仁二君は四代目である、最近の町西方の発展は、日本水素、日本軍需会社小名浜織維工場などの建設によつて其の勇ましさとうつくしさは恐らく人生に於ける一大壮観と申しても過言ではあるまい

常陽日関彰9
小名浜の野球

小名浜、江名、関彰。龍井、阿部

最高魚獲船表彰
小名浜と江名の船主も

江名、中ノ作、各港に於ては九日大小漁船二百双の内最高漁獲船及び船主を表彰する

江名底曳関係
◆第二辰巳丸佐藤良江氏
◆第三清栄丸熊川健氏
◆第伍運丸戸田満次郎氏中之作底曳関係
◆第盛喜丸吉田忠氏
◆第五太陽丸吉田喜好氏
◆第六太成丸太清昌氏カツ、マグロ関係
◆白鳳丸中田喜三郎氏

以上であるが、第二辰巳丸第二盛喜丸は各々二連続表彰された

小名浜の船主も
小名浜と江名の船主も

平市四ツ波農小泉嵩一郎氏二男文男（三つ）ちやんは四日父親嵩一郎さんに背負われて石森山地内梨園の消毒作業中、梨園消毒用のボリドール液を中毒死亡した、同ボリドールは甚しい有害物であり使用時は慎重な注意を要する消毒液であるところから平市署では父親嵩一郎氏を過失致死の疑心取調べる一方

小名浜の優良赤ン坊

第五回赤ちゃんコンクール全国大会で石城、平地区予選に入つた優良赤ちゃんは五日平市公会堂日本間で表彰されるが、うち小名浜分は

◆コンクールの部　小名浜町字古港政明ちゃん保護者小野定雄
◆大会の部　同横町秀一ちゃん保護者佐川敏雄、同中坪信子ちゃん保護者比佐真平以上でなお後日町役場でも表彰することになつている

菊多方部日光旅行
十三日集団出発

泉中（一二三名）、小名一中（一一七名）同二中（一五八名）、江名中（一六六名）、鹿島中（六〇名）の集団修学旅行は十三、十四、十五の三日間を横浜、日光方面へ十三日泉駅発午前五時の列車で出発することに決つた

常陽十一対関彰九で、常陽が勝つた

過般長野県上田市で開催された東日本民踊大会で見事優勝した平市中山青年会のジャンガラ念仏踊りは、ジャンガラ磐城の名声を挙げたが、更に八、九日新潟市で開催される全国専門店大会には中山青年会、九日桐生市で開催される東日本民踊大会には南白土青年会が再び遠征参加することになつた

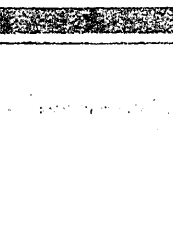
再び遠征
踊りジャンガラ

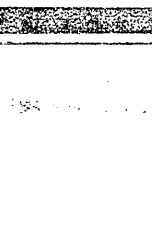
施設公開
平窪の療護園

開園六ケ月を迎えた福島県肢療護学園（園長大河内一郎氏）では五日の「子供の日」を記念して一般に施設を公開、多彩なリクレーションを催して一日子供達と喜びを共にする

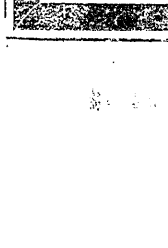
懸賞募集
正解者一五名様に（ひかり座）御招待
正解者多数の節は抽籤にて決定のこと
問題
①平専商店会会員店は何軒か
②本年（昭）の特賞空路御招待の行先は何処か
③当店ウインドの五ツの花はどこの国の国花でしようか
④只今当店の街頭放送宣伝中の商品名御使用目的
⑤此の広告をみた新聞名その他
〆切期日　五月二十五日の消印あるものまで
申込方法　「官製ハガキ」解答の外、住所、氏名、年令、職業、配職（正当）して御送附下さい
発表日　五月二十九日当店當紙上
申込所　平市田町
あこう薬局
懸賞係

念記年周一盟加会店専問平





カメラと材料は…
飯田カメラ店
平市一丁目電二三五



春物最終の大特売会　5月5日まで
平のトピック
初夏の魅力を誘う
夏のプリント服地展示會
清々しい魅力を店内一ぱいに繰り広げて御座居ます
是非一度御来店の上御覧下さい
男子 小店員募集 委細面談
純毛 トロピカル・ウールポプリン・ウールチエツク 服地
其の他各種豊富に取揃えて御座居ます
鈴藤